

飛騨市観光協会通信



宮川町 池ヶ原湿原 (宮川町)

今月号の内容

- ・古川祭開催
- ・神岡祭開催
- ・神岡桜物語開催
- ・池ヶ原湿原 山開き
- ・鯉の引っ越し
- ・特産会各種イベント

観光協会新規会員随時募集中!

飛騨市観光協会では、新規の会員様を募集しています。また、協会の皆様にはテントやテーブルなどレンタル備品の貸し出し、パンフレットやSNSなどの媒体でのご紹介、事業者の方には特産会会員としてイベントの案内もしております。少ロットポスター印刷承ります!少ロットポスター(1枚~10枚程度まで)承ります。A4~A1サイズまで、当日印刷も対応可能です。



飛騨古川まつり会館インスタグラム始めました!

飛騨古川まつり会館の公式インスタグラムアカウントが出来ました!まつり会館での日々の出来事や開館情報、おみやげの紹介などを行っていきます。ぜひフォローをお願いします。アカウント:
@hidafurukawamatsurikaikan



4/19.20 古川祭(規模縮小)が行われました

今年の古川祭は規模縮小となりましたが3年ぶりに開催。両日も天候にも恵まれ予定通り開催が出来ました。2日間を通して約7,000人の人出となり、コロナ以前の8分の1程度となりましたが、桜の時期とも重なり久しぶりに町に活気が戻りました。

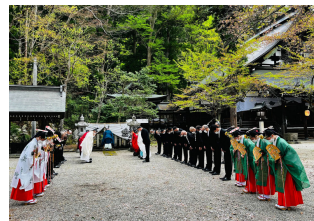
両日の昼間には各台組の屋台が曳行し、19日は町内、20日は駅前と舌之町通りに曳揃えをしました。19日の夜は起し太鼓に代わり「四神挨拶行列」が町を巡行。起し太鼓はまつり広場での出立祭と打ち出し、打ち納めのみでしたが若松様の合唱や太鼓の音が響き祭の雰囲気を感じました。



4/23 神岡祭(規模縮小)が行われました

例年4月第4土曜日に行われる神岡祭は、今年度は規模縮小の神事での開催となりました。大津神社、東町白山神社、朝浦八幡宮の二社一宮で行われる神岡祭ですが、今年はそれぞれの神社での主に神事のみとなり、合同での開催の見送りは今年で3回目となりました。

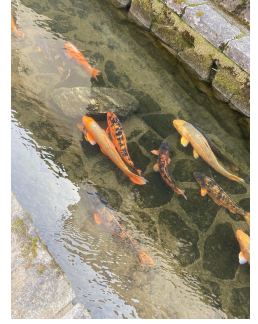
大津神社では献幣祭での舞姫の舞奉納やお神輿の安座所への移動など、白山神社では獅子舞の奉納など、朝浦八幡宮本殿では前日に石田春草屏風絵展示などが行われました。



鯉の引っ越しが行われました

古川に春を告げる瀬戸川の鯉の引っ越しが4月2日(土)に行われました。

瀬戸川を泳ぐ約1000匹の鯉は越冬のため冬場は古川小学校近くの天神池に引っ越し、瀬戸川は融雪溝として使用されています。冬が終わり4月になると、鯉は飛騨市観光協会、飛騨市役所、地元ボランティアの手で瀬戸川へと戻されます。今年は約30人の手で約4時間半かけて瀬戸川へと引っ越しをしました。



神岡桜物語を開催しました

「神岡桜物語」は、Instagramフォトコンテストと飲食店などの限定メニューが一体となったイベントです。今年は4月1日(金)～5月8日(日)まで約1カ月の期間で開催をしました。神岡町内の桜の写真を投稿する「風景部門」と、町内の桜にちなんだ限定メニューの写真を投稿する「桜メニュー部門」の2部門での作品を募集しました。桜味、桜柄、桜のパッケージなど、見た目もかわいい桜をモチーフにしたメニューを限定販売し、多くのお客様に楽しんでいただきました。



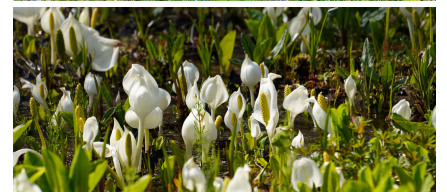
結果は審査後、6月中に発表となります。Instagramで#神岡桜物語2022と検索すると応募作品が見られるのでぜひご覧ください。



4/29～ 池ヶ原湿原山開き

宮川町の池ヶ原湿原が4月29日(金)、山開きをしました。池ヶ原湿原は市の花でもあるミズバショウが群生し、リュウキンカやキクザキイチゲ、ザゼンソウなどと雪解けとともに咲き始めます。今年は例年同様、ゴールデンウィーク頃に見ごろのピークを迎えました。※昨シーズンの雪の影響で奥側の木道は現在一部通行止め状態となっています。

山開きとともに多くの方にお越しいただき、多くの人出となりました。池ヶ原湿原は数年前に木道が整備され、花がより近くに見られるようになりました。花の時期が過ぎると新緑の季節になり、夏にはオニユリなどの花が咲き出し気持ちのいい散歩道となります。駐車場からも徒歩約3分で湿原へと辿り着きますのでぜひ遊びに行ってみてください。



特産会、各種イベントを開催しました

4月3日(日)、奥の細道むすびの地記念館10周年記念「春の芭蕉祭」が行われ、飛騨市特産委員会から(有)さわのいわなの塩焼きやモリモ食品の五平餅などが出店し、満開の桜の中飛騨の味を堪能していただきました。他にも21の市町村団体が参加しご当地の食べ物や観光PRなどを行いました。

4月6～8日(水～金)、愛知県名古屋市中熱田駅にて毎年行われている「飛騨市観光と物産展IN金山」が開催され、飛騨市特産委員会からやまさち工房、(有)さわ、(有)老田屋、麺の清水屋、登山酒店、井之廣製菓舗、大久保製菓、岩太郎、モリモ食品の9店が出店しました。参加者からは、毎年楽しみにしているなどの声もあり、名古屋近郊では手に入らない飛騨市の特産品を袋いっぱい詰めた姿を見られました。開催期間中3日間で約5,100人の方の利用がありました。

4月19～20日(火～水)、古川祭に合わせ、飛騨の匠文化館裏にて飛騨市物産展IN古川祭を行いました。飛騨市特産委員会から(株)ヒダカラ、モリモ食品、長八、飛騨古川スペランツァホテル、(有)老田屋の5社が参加し、3年ぶりの古川祭と一緒に盛りあげました。



まつり会館屋台入れ替え

4月20日の古川祭終了後、まつり会館に展示されていた屋台の入れ替えが行われました。新しく白虎台、神楽台、金亀台が入り、秋の入れ替えまで展示されます。古川祭に出される屋台は、普段は町内で保有する屋台蔵に保管されています。屋台蔵は漆喰塗りで中は見えないようになっていますが、飛騨古川まつり会館では、古川祭の当日でなくても屋台が見学できるように9台のうちの3台を交代に展示しています。

猛暑に役立つドライポロシャツをまつり会館売店にて好評販売中！
カラー展開：4色
サイズ：SS～5L
価格：2,600～(税込)

